



着任挨拶



○ 院長 澁谷 和彦 (しぶや かずひこ)

本年4月に大島哲先生の後任として着任致しました。2007年に長年勤務しておりました大学病院から八王子小児病院へ異動し、旧都立小児病院(清瀬, 八王子, 梅ヶ丘)および府中病院小児科の統合開設準備に携わりました。2010年の開設から8年間を小児総合医療センターにて、2018年から2年間を大塚病院にて勤務し、昨年度までの6年間は副院長として施設全体のマネジメントを中心に従事していました。2年振りに、ここ多摩メディカルキャンパスに戻りましたが、改めてキャンパスの規模の大きさを認識致しました。

府中療育センターは、多摩メディカルキャンパスの未来構想の一環として、本年6月に多摩療育園と一体となり新センターへ移転開設するという一大イベントが予定されています。現在、世界中が新型コロナウイルス感染で大変な状況にありますが、利用者である重症心身障害児者の方々と新センターで勤務する全職員が共に無事でありますように十分注意を払いながら、ぜひ移転を成功させたいと願っております。

皆様、どうか宜しく願い申し上げます。



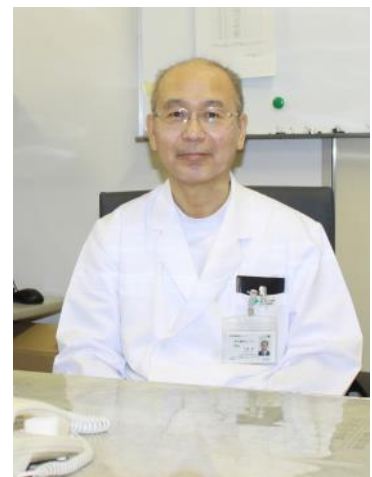
退任挨拶

○ 前院長 大島 哲 (おおしま あきら)

新型コロナウイルス感染症の拡大はとどまるところを知りません。日本もついには首相が長期戦の覚悟を要請しましたし、知事も「国難」と称しました。府中療育センターは重症心身障害児者の施設であって、利用者は高齢化、障害の重症化を認め、高リスク群と言わざるを得ません。

一方、6月には新センターへの移転が控えています。多摩療育園と一体となり、療育施設としては最大の入所者さんの移動もあります。加えて電子カルテの導入も同時に行われます。

こういったときに定年とはいえ、職を辞するのは大変心苦しいのですが、幸いにも新院長は小児科診療に経験豊富で高潔、優秀な方です。職員一同力を合わせてone teamとなってこの難局を克服してください。きつとうまくいきます。3年間どうもありがとうございました。



着任挨拶

○ 事務長 渡辺 秀子（わたなべ ひでこ）

4月1日付の人事異動で、事務長に着任しました渡辺です。前職は、障害者施策推進部計画課長で、障害児・障害者施策推進計画の策定などを担当しておりました。

府中キャンパスでは3度目の勤務となります。最初は、府中病院の庶務課で平成3～5年度まで、2度目は、当センターの事務次長として、平成21～23年度まで勤務しました。10年ほどが経過しているにもかかわらず、懐かしい方々と再会できましたことを大変うれしく思いますとともに、当時、ようやく移転改築の場所が決まった新センターが、多くの方々の思いを受け継ぎ、多くの課題を乗り越えて、いよいよ開設を迎えることに深い感慨を感じる次第です。

新センターは、建物のみでなく、電子カルテの導入や多摩療育園との統合などにより、機能的にも充実が図られるもので、そのため、目前の移転作業も大変なものになるかとは思いますが、職員の皆が一丸となって、質の高いサービスの提供を目指していけるよう、力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



退任挨拶

○ 前事務長 貝瀬 由明（かいせ よしあき）

この度の人事異動で事務長を退任することとなりました。

平成29年4月の着任以来、事務室をはじめ各科の職員の皆さんには多大なるご協力いただきましてありがとうございました。心より感謝申し上げます。

着任早々、日々利用者の方々にはひたむきに接する皆さんの姿を拝見し「まさしくこれが療育の現場なのか」と感銘を受けたことを昨日のこのように思い出します。以来、3年間、老朽化した現センターの運営と並行しながら新センターの移転改築事業に邁進してきました。着任当初は、建築計画を除き移転準備作業は手つかずの状態でした。このため、移転準備のための十数本の作業計画を立てることからスタートし、スケジュール管理を徹底しながら進めました。時には、私自身も職員の皆さんとともにセンター中を歩き回った日々もありました。昨年、12月に無事に竣工を迎え、この春には引越しの準備作業に入れるところまでできましたことは大変喜ばしく思うとともに、職員の皆さんのこれまでのご苦労、ご協力に改めて感謝します。また、至らない点、厳しい対応も多々あったかと思い反省しています。

都政はいま、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の中、未曾有の事態にあります。この事態を一刻も早く克服し、利用者やご家族の皆さんの念願であった新センターへの引越しが無事に終わり、歴史と伝統ある府中療育センターがこれまで以上に輝かしい療育施設として新たにスタートされることを心より祈念して、退任の挨拶といたします。



着任挨拶

○歯科医長 伊平 弥生 (いだいら やよい)

私は鶴見大学小児歯科に在籍し、2002年より府中療育センターで非常勤職員として歯科治療を行ってきました。この度、新病院設立にあたり常勤歯科医師として勤務することになりました。今までは健常児、障害児・者などに歯科治療、咬合誘導ならびに予防・管理を行ってまいりました。これまでに培った経験を活かし、麻酔科歯科医とも協力して、患者さんに見合った最善の治療を行いたいと思います。また齲蝕(う蝕)ならびに歯周病の予防に重きを置き、削らない、抜かない治療を目指して歯科衛生士、看護師さんたちと共に日常生活から気を配っていきたいと思っています。よろしくお願いたします。



○歯科医長 笹尾 真美 (ささお まみ)

このたび歯科(麻酔)に赴任しました笹尾真美と申します。これまでは大学歯学部にて専従でしたが、都立清瀬小児病院で10年余り医科麻酔を経験させていただき、地域の障がい者歯科センターで歯科麻酔を担当していました。

当療育センターの利用者さんには歯科治療中の気道確保が難しい方、高齢の方もいらっしゃいます。これまで以上に緊張感をもって、より安全に快適な歯科医療を提供できるよう努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



○栄養科長 本荘谷 利子 (ほんじょうや としこ)

4月1日付けで病院経営本部墨東病院から着任いたしました、栄養科長の本荘谷です。

府中療育センター勤務は初めてで、療育においては全くの素人のため1から勉強となります。加えて、2か月後には新センターへの移転が控えており身の引き締まる思いです。とは言うものの、院内には顔見知りの職員の方も多だけでなく、院全体が温かい雰囲気包まれていて、皆さんが「利用者さん」中心に業務に邁進されている姿に感銘を受けました。

どうぞよろしくお願いたします。



○看護担当科長 杉田 弓子 (すぎた ゆみこ)

4月1日付で、異動して参りました杉田弓子です。

映画を観るのが大好きですが、3密(密閉・密集・密接)厳守で自粛中の今は、愛犬との散歩が一番の気分転換・心の栄養補給になっています。自然豊かなところに住んでいるので、木々や色とりどりの花景色を楽しみつつ、新しい息吹から元気もらっています。

入都は八王子小児病院で、その後府中病院・多摩総合医療センター、神経病院を経験いたしました。療育分野ははじめてです。一日も早く慣れて皆さんとともに質の高い療育・医療サービスを提供できるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いたします。



退任挨拶

○前小児科医長 小峯 聡 (こみね さとし)

令和2年3月31日をもって定年退職いたしました。20余年に亘り東京都に勤務いたしました。20年前に東京女子医科大学小児科医局を退職し公衆衛生医として保健所にて勤務し、地域での小児保健・精神疾患や感染症・結核患者の対応など様々なことを経験しました。その後、府中療育センターに小児科医長として赴任し、重症心身障害児者の医療・療育に関わる機会を得ました。

病棟の運営・医師数の減少・呼吸器台数・新センター開設等の課題を抱えた15年間でした。また、妻も小児科医としてセンターに勤務した経験があり、当時あった院内保育所に息子も通園して家族ぐるみでお世話になりました。この間ご指導ご鞭撻を戴いた先生方・職員の皆様には厚く御礼申し上げます。



○前栄養科長 小山 理美子 (こやま りみこ)

平成30年4月より勤務をさせていただいた府中療育センターでの食事提供や療育に係わる業務は、とても有意義な経験でした。特に摂食嚥下障害の利用者さんに対しての職種を超えた職員の知恵と協力体制の素晴らしさを実感しました。

これから新センターへと移り、今後への期待が高まることでの異動となってしまうことは心残りではありますが、府中療育センターの発展を陰ながら応援させていただきます。ご協力、ありがとうございました。



○前看護担当科長 菊地 睦 (きくち むつみ)

この度4月1日付をもちまして小児総合医療センターへ転勤になりました。

府中療育センターでの3年間、多くの方の温かい支援により、私なりに充実した時間を過ごすことができました。センターの節目である創立50周年を迎えることができたことや新センター移転に向けた準備に関わったことは忘れられません。本当にありがとうございました。

いよいよ新センターへ移転となります。移転を機に府中療育センターがますます発展することを願っています。



休刊のお知らせ

新センターへの移転をより万全に行うため、勝手ながら「あけぼのすぎ」5月号と6月号は休刊とさせていただきます。

次回7月号は「移転特集号」として、生まれ変わった新センターを特集します。おたのしみに！

〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>